導電性シリコーンガスケット (銀系)

導電性シリコーンガスケット (銀系)とは、エラストマーの材料です。優れたEMIシールド効果。

EMI Gasket ・ Conductive Silicone ・ シールドガスケット

最終更新：2026/10/30

2.5 g/cm³	200 °C	50 - 70 Shore A
比重（密度）	最高使用温度	硬さ

シリコーンゴム・NBR・FKMとの違い

材料名を押すと、その材料のページに移動します。

	導電性シリコーンガスケット (銀系) このページ	シリコーンゴム (RTV)	NBR (ニトリルゴム)	FKM (フッ素ゴム)
引張強さ	—	7 MPa	25 MPa	14 MPa
硬さ	50 - 70 Shore A	50 Shore A	70 Shore A	75 Shore A
線膨張係数	—	310 µm/m·K	—	—
熱伝導率	—	0.2 W/m·K	0.25 W/m·K	0.18 W/m·K
最高使用温度	200 °C	—	—	—
密度	2.5 g/cm³	1.15 g/cm³	1.2 g/cm³	1.85 g/cm³

「—」は材料データベースに値が載っていない項目です。

特徴と用途

材料としての特徴

- 優れたEMIシールド効果
- シリコーンの弾性でシール性確保
- 銀めっき粒子配合で高導電性
- 広い周波数範囲で有効
- 耐環境性（温度・湿度）

主な用途

- 電子機器筐体EMIシール
- 通信機器
- 医療機器
- 軍事・航空宇宙
- 自動車ECU

選び方

EMIシールドとシール性を両立する必要がある場合に。周波数帯域と遮蔽効果を確認。

メリット

- EMIシールド
- シール性
- 耐環境
- 弾性

デメリット

- 高価
- 銀のマイグレーション
- 導電性コーティング剥離

一般的な特性に基づく参考情報です。実際の性能は製造条件・使用環境により異なる場合があります。

物性値

公的規格・技術資料をもとにした参考値です。

熱的性質

項目	値	条件
最高使用温度	200 °C	—

電気的性質

項目	値	条件
体積抵抗率	0.005 Ω·cm	—

物理的性質

密度	2.5 g/cm³

加工・規制・注意

規制適合

RoHS	適合
REACH	適合

出典・ご利用上の注意

- 2025-12-07

作成者：ものづくりのためのお役立ち情報編集チーム（株式会社メイカーズ）
監修：株式会社メイカーズ　商品開発戦略グループ
作成日：2026/10/30
最終更新：2026/10/30

本ページの物性値・特性情報は、JIS・ISO・ASTM等の公的規格およびメーカー技術資料を参照した参考情報です。実際の材料選定・使用にあたっては、必ず材料メーカーの公式データシートをご確認の上、専門家にご相談ください。 本データベースは、設計・開発段階での材料比較・選定にお役立ていただけるよう、幅広い材料の物性情報を掲載しています。図面加工のご依頼やおすすめ材料のご提案は、お気軽に お問い合わせ ください。

※ 本ページに記載の商標は各社の登録商標または商標です。Inconel®, Monel®は Special Metals Corporation、Hastelloy®は Haynes International, Inc.、Vespel®, Kapton®, Kalrez®, Kevlar®は DuPont、Delrin®は TJC、Teflon™, Viton™は The Chemours Company、ジュラコン®は ポリプラスチックス株式会社、MCナイロン®は 三菱ケミカルアドバンスドマテリアルズ株式会社の商標です。

図面加工のご依頼やおすすめ材料のご提案は、お問い合わせください。

よくある質問

導電性シリコーンガスケット (銀系)の密度（比重）は？

導電性シリコーンガスケット (銀系)の密度（比重）は2.5 g/cm³です。

導電性シリコーンガスケット (銀系)の最高使用温度は？

導電性シリコーンガスケット (銀系)の最高使用温度は200 °Cです。

導電性シリコーンガスケット (銀系)の硬さは？

導電性シリコーンガスケット (銀系)の硬さは50-70 Shore Aです。

導電性シリコーンガスケット (銀系)の主な用途は？

導電性シリコーンガスケット (銀系)は、電子機器筐体EMIシール、通信機器、医療機器などに使われます。